

「水と緑と歴史」そして「人」との ネットワーク形成をめざす 多摩川エコミュージアム

生きた総合博物館として

『多摩川エコミュージアムプラン』は、多摩川を中心とした「水と緑と歴史のエコミュージアムづくり」を市民自らが創りあげるとする市民主体の基本理念から策定されています。

2002(H14)年6月、その理念の実現に向けNPO法人多摩川エコミュージアム(以降「同会」と略します)は、「多摩川水系とその流域を含む地域を対象に、市民が生活する地域と環境そのものを生きた総合博物館として創造し、その優れた自然遺産と歴史・文化遺産を保全・継承して、だれもがいきいき、楽しく学び、活動できる環境づくりに寄与すること」を目的に発足しました。

(2019年4月現在 理事14名・会員100名)

人をつなぐ ありとあらゆる活動

二ヶ領宿河原堰のそばにある二ヶ領せせらぎ館は、行政と同会を中心とする市民との協働で管理・運営されています。

同会は、このせせらぎ館を活動の拠点として、①体験教室や講習会(カッパの川流れ・エコ★カッパいかだ下り・正月遊び・凧づくり凧あげ・布ぞうり作り・わら



▲ カッパの川流れ

細工・クラフト・幼児サロンなかよしランドなど)②観察会や企

画展示(野鳥や植物観察・野鳥や植物の写真展・絵画の作品展など)③各種イベント(コンサート・お祭り・散策・星空上映会・収穫祭など)④クリーンアップ活動(環境美化活動・クリーン作戦・清



▲ 秋の多摩川祭り(収穫祭)

掃)などの活動をすすめています。

同会は10年前から多摩川源流の丹波山(たばやま)村との交流を行っています。毎年1月7日に行われている「丹波山村のお松引き(1年間の無病息災や家内安全、五穀豊穰などを願った丹波山村に古くから伝わ



▲ 丹波山村の「お松引き」

る門松をはらう松送りの祭事)」にボランティアを募って参加し、多摩川の源流を知り、源流の皆さんとの交流を深めるきっかけをつくる活動をしています。また源流の小菅村の源流祭りにも参加しています。

ほかにも、クリーンアップ活動では、企業とのコラボ清掃や外国(ジャカルタお掃除クラブ)との交流などを行い、掃除文化やゴミ処理、資源循環活動を推進しています。



▲ 企業や外国とのクリーンアップ活動

手づくり郷土(ふるさと)賞「大賞」受賞

これら同会の「多摩川の魅力を体験・実感する活動」「源流との交流」「クリーンアップ活動」など、「人をつなげる森と川～二ヶ領せせらぎ館を『まちの広場に』～」として、多摩川とつながるすべての人・グループ・村・外国との顕著な連携活動が認められ2017(H29)年度、手づくり郷土(ふるさと)賞「大賞」を受賞しました。

同会のホームページには、受賞の様子を含め、イベント情報・レポート(活動記録)・多摩川の歴史・地理・自然・二ヶ領用水のことなど環境学習で活用できる情報・「せせらぎ館・エコミュージアム・市民活動のQ&A」などが掲載されています。また、情報誌「エコ・たまがわ」(隔月)を発行し、同会の活動を詳しく紹介しています。

心のふるさととなる場を提供したい

代表理事の松井隆一さんは、「行政・企業・市民のおかげで、多摩川には鮎が毎年500万匹も遡上し生物多様性を確認できる清流になっている」とうれしそうに話します。さらに、学校や市民活動団体と連携協力しながら、日常生活では体験できない活動を取り入れ、意欲ある家族や市民グループを増やし、子どもたちに心のふるさととなるような場を提供したい。そして同会の柱でもある「人が好き、多摩川が好き、自分たちの住む環境を良くしたい、なにかの役に立ちたい」と考えてくれる人がひとりでも多くなってほしいと願っております。今後も地域4大学・2高校・中学校・小学校・保育園との体験学習活動、諸団体との交流・連携を広め「川でつながる郷土づくり」を更に展開していきたいと抱負を語ります。



▲ 松井隆一さん